

「切 腹」

仲代達矢 2025 年 11 月（92 歳）の死を悼み代表作を上映します。

社会派の名匠・小林正樹が初めて本格時代劇に挑み、1963 年第 16 回カンヌ国際映画祭で審査員特別賞を受賞した作品。

滝口康彦の小説「異聞浪人記」を原作に、「七人の侍」などの名脚本家・橋本忍が脚色を手がけ、武家社会や武士道の残酷さを描いた。

寛永 7 年 10 月、井伊家の江戸屋敷に津雲半四郎（仲代達矢）と名乗る浪人が現れ、生活苦から切腹したいので庭先を貸してほしいと申し出る。近頃、江戸では金に困った浪人が他人の屋敷の玄関先で切腹すると申し出て金品を巻き上げる手口が横行していた。井伊家の家老・斎藤勘解由（三國連太郎）は半四郎に、春先に同じ用件でやって来た千々岩求女という浪人の話をする。浪人たちの強請同然の手口に悩まされていた勘解由は、死ぬつもりなどない求女に庭先を貸し与え、本当に切腹にまで追い込んだのだ。話を聞き終えた半四郎は、勘解由に衝撃的な事実を語りだす。



1962 年製作／133 分／日本

9月26日（土）13：30～

場所 小平市中央公民館 1F 視聴覚室

（西武多摩湖線青梅街道駅下車 南へ徒歩 7 分）

資料代 100 円 問合先 090-5425-4604 小俣

（事前申込不要）



映画の好きな方 お手伝いをしてくださる方募集中